



FY22 2Q 決算説明資料

2022年11月8日 東京特殊電線株式会社

1. 決算概要	• • •	P.03
2. FY22配当金および業績予想	• • •	P.09
3. Appendix	• • •	P.12

(百万円、%)	FY21.2Q	FY22.2Q	増減	増減率	増減要因
売上高	10,518	10,161	▲357	▲3.4	売上原価 原価低減の推進により売上原価の改善はあったものの、原材料価格の上昇等により、原価率は1.8ポイントの悪化となった。
売上原価	7,402	7,335	▲67	▲0.9	
(率)	70.4	72.2	+1.8	－	
売上総利益	3,115	2,825	▲290	▲9.3	法人税、住民税及び事業税 ▲130百万円 (▲360百万円→▲490百万円) 法人税等調整額 +154百万円 (▲137百万円→17百万円)
販売費及び一般管理費	1,230	1,378	+148	+12.0	
営業利益	1,885	1,447	▲438	▲23.2	
(率)	17.9	14.2	▲3.7	－	
経常利益	1,911	1,509	▲402	▲21.0	
税金等調整前 四半期純利益	1,889	1,577	▲312	▲16.5	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,379	1,098	▲281	▲20.4	

- ・売上高は10,161百万円となり、前年同期比▲357百万円（▲3.4%）の減収となった。
- ・売上高増減に含まれる為替変動による影響額+570百万円
（電線・ヒータ分野+245百万円、デバイス分野+325百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



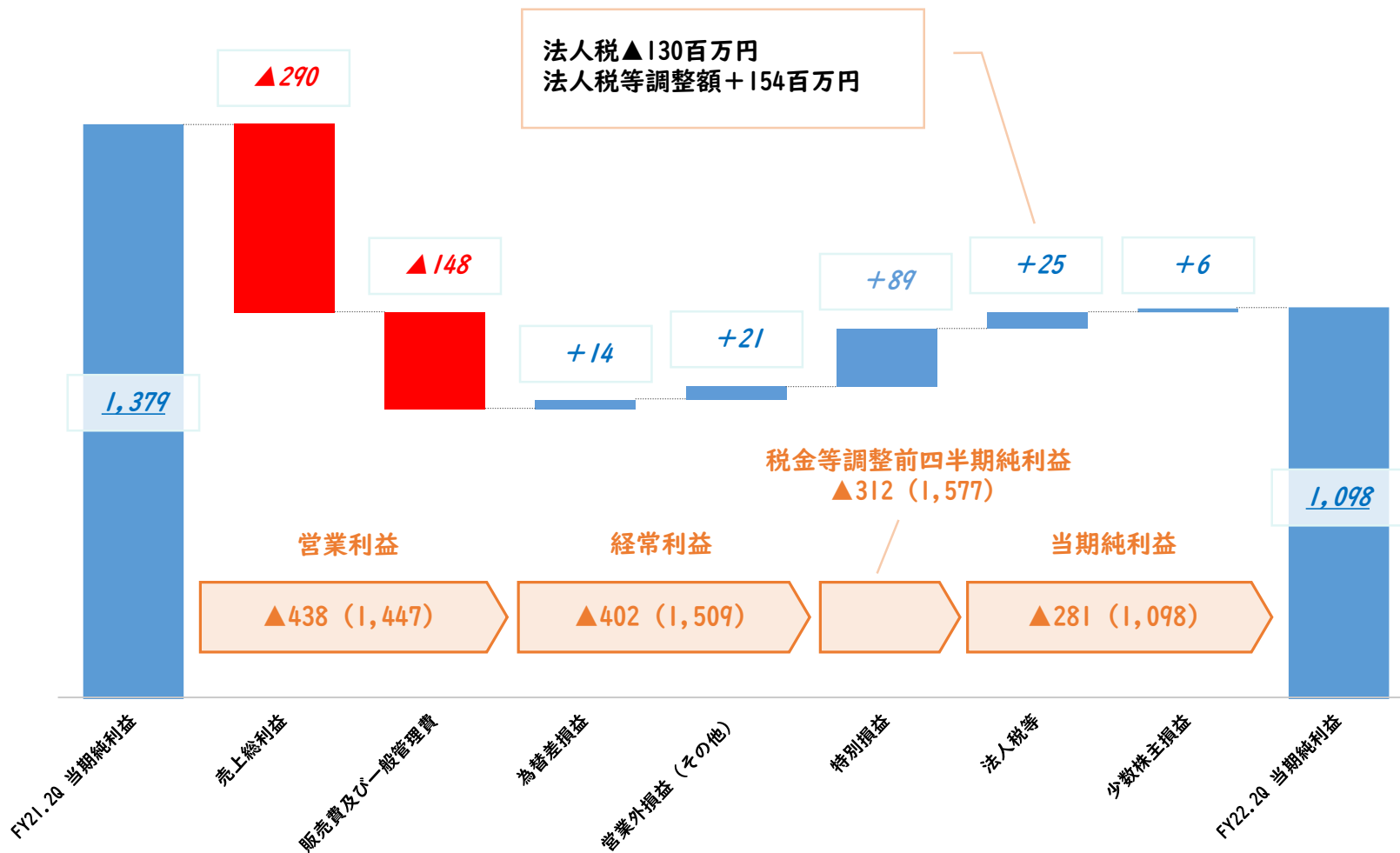
中国子会社のヒータ線、高耐圧複合電線において一部増加はしたものの、パソコン等の小型トランスに使用される三層絶縁電線が中国での経済活動抑制の影響により減少、また、自動車向けシート用ヒータ線も半導体不足により減収となった結果、前年同期比▲33百万円（▲0.5%）となった。

デバイス分野



中国子会社の焼付線が中国での経済活動抑制の影響により減収となり、半導体パッケージ基板導通検査治具に使用されるコンタクトプローブも弱含んだことから、前年同期比▲326百万円（▲8.2%）となった。

(百万円、%)	FY21.2Q	FY22.2Q	増減	増減率
売上高（連結）	10,518	10,161	▲357	▲3.4
電線・ヒータ分野	6,478	6,445	▲33	▲0.5
デバイス分野	4,002	3,676	▲326	▲8.2
その他分野	36	39	+3	+9.3



- ・ 営業利益は1,447百万円となり、前年同期比▲438百万円（▲23.2%）の減益となった。
- ・ 営業利益増減に含まれる為替変動による影響額+26百万円（電線・ヒータ分野+12百万円、デバイス分野+14百万円）

構成比

電線・ヒータ分野



三層絶縁電線や自動車向けシート用ヒータ線が減収となったことに加え、銅地金価格の高止まりや原材料価格、物価上昇の影響もあり、前年同期比▲205百万円（▲17.8%）となった。

デバイス分野



売上高において中国子会社の焼付線の減収、コンタクトプローブが弱含んだことから減益となり、前年同期比▲236百万円（▲28.7%）となった。

(百万円、%)	FY21.2Q	FY22.2Q	増減	増減率
営業利益（連結）	1,885	1,447	▲438	▲23.2
電線・ヒータ分野	1,151	946	▲205	▲17.8
デバイス分野	821	585	▲236	▲28.7
その他分野	▲87	▲84	+3	—

(百万円、%)	FY21	FY22.2Q	増減	増減率	増減要因
流動資産	17,534	18,646	+1,112	+6.3	流動資産（その他）
現金及び預金	10,597	11,354	+757	+7.1	売掛債権+104百万円 棚卸資産+191百万円 等
その他	6,936	7,292	+356	+5.1	
固定資産	10,202	10,110	▲92	▲0.9	有形・無形固定資産
有形・無形固定資産	8,028	8,413	+385	+4.8	設備投資+712百万円 減価償却費▲519百万円 固定資産除売却▲21百万円 その他+214百万円
投資その他の資産	2,174	1,696	▲478	▲22.0	
資産合計	27,737	28,756	+1,019	+3.7	流動負債
流動負債	5,821	6,152	+331	+5.7	仕入債務▲52百万円 未払金▲45百万円 未払法人税等+187百万円 等
固定負債	3,492	3,241	▲251	▲7.2	
負債合計	9,313	9,393	+80	+0.9	株主資本
(うち、有利子負債)	2,326	2,445	+119	+5.1	利益剰余金+623百万円
株主資本	17,381	18,021	+640	+3.7	
その他	1,041	1,341	+300	+28.8	
純資産合計	18,423	19,363	+940	+5.1	
負債純資産合計	27,737	28,756	+1,019	+3.7	
自己資本比率	65.7	66.7	+1.0	—	
Net Cash	8,270	8,909	+639	+7.7	

1. 決算概要	・ ・ ・	P.03
2. FY22配当金および業績予想	・ ・ ・	P.09
3. Appendix	・ ・ ・	P.12

- ・ FY22の年間配当金は、50.0円／株と予想（中間配当 50.0円／株、期末配当 ー円／株）
詳細につきましては、2022年11月8日に公表いたしました「2023年3月期の期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご参照ください。
- ・ FY22の業績予想は、2022年5月12日に公表いたしました「2022年3月期決算短信[日本基準]（連結）」に記載しております連結業績予想から変更ございません。

配当金（円、銭、％）	中間配当	期末配当	合計	総額（百万円）	配当性向（％）
FY20	30.0	30.0	60.0	404	22.4
FY21	30.0	50.0	80.0	539	23.1
FY22（予想）	50.0	ー	50.0	ー	ー

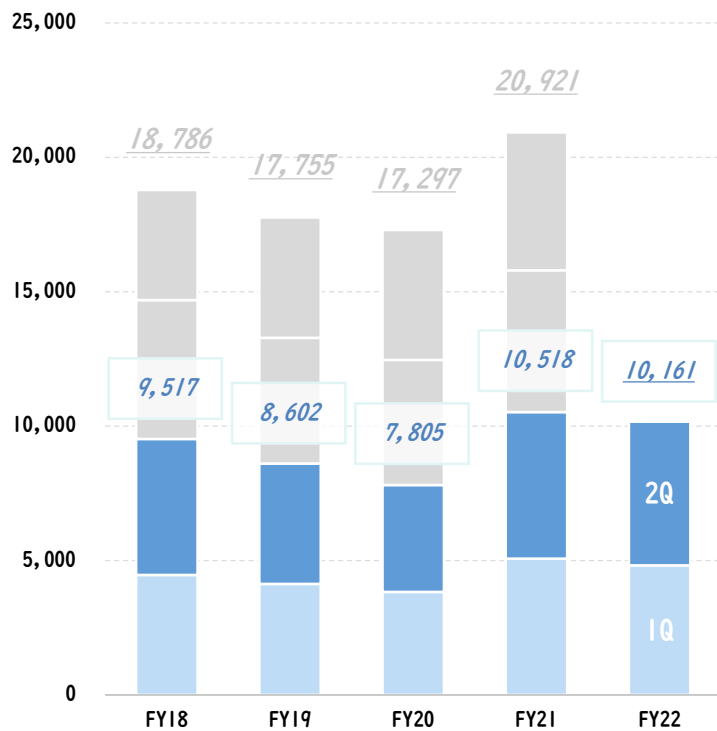
業績予想（百万円、％）	FY21 実績	FY22 予想	増減	増減率
売上高	20,921	21,500	+579	+2.8
営業利益	3,260	3,200	▲60	▲1.9
経常利益	3,306	3,150	▲156	▲4.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,335	2,120	▲215	▲9.2

※将来に関する記述につきましては、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がございます。

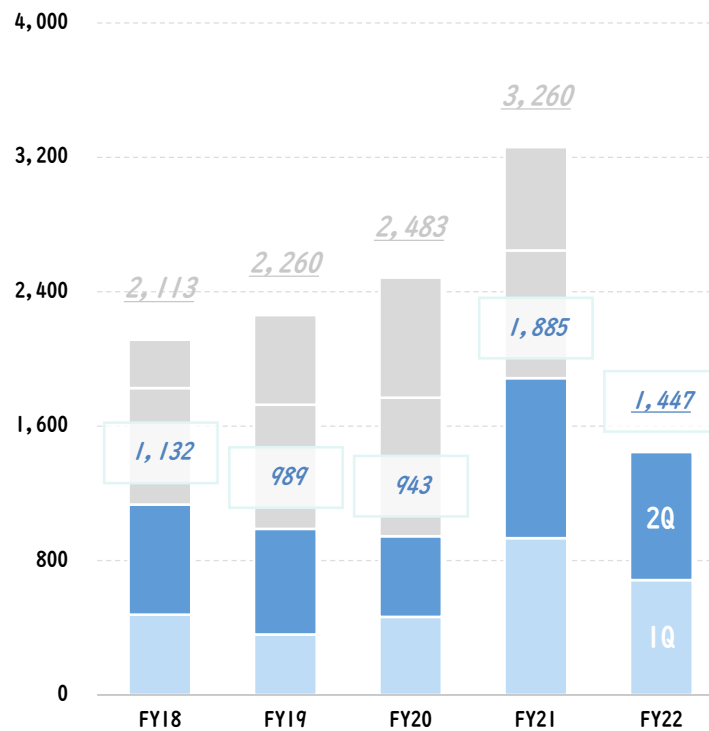
当社は、2022年11月8日開催の取締役会において、TTCホールディングス株式会社による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）の全て（ただし、当社が所有する自己株式を除きます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して本公開買付けに応募することを推奨することを決議いたしました。詳細については、2022年11月8日公表の「TTCホールディングス株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 決算概要	• • •	P.03
2. FY22配当金および業績予想	• • •	P.09
3. Appendix	• • •	P.12

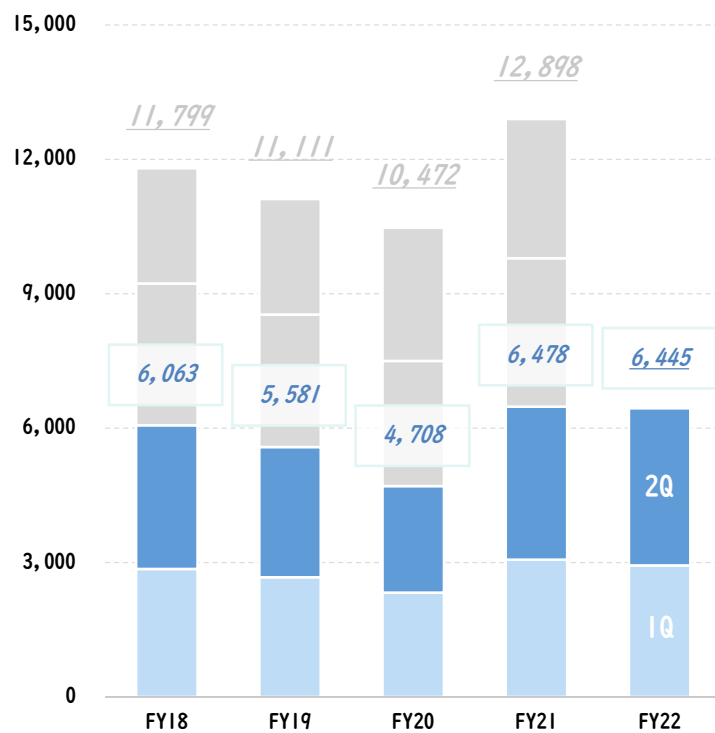
売上高（百万円）



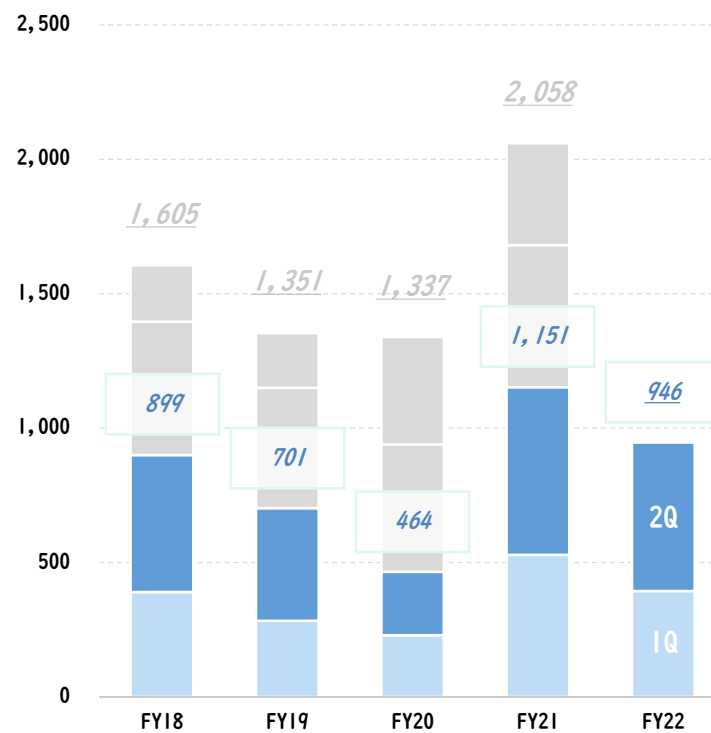
営業利益（百万円）



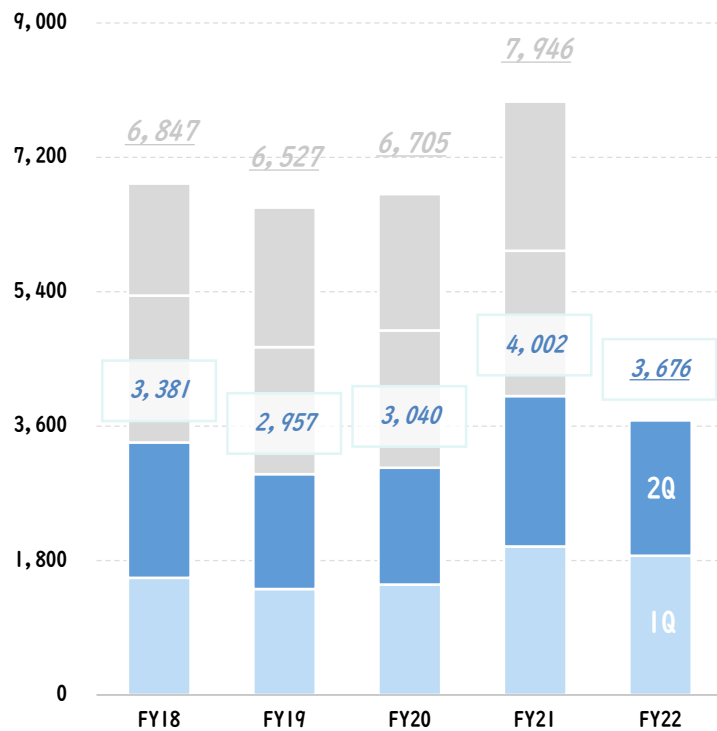
売上高（百万円）



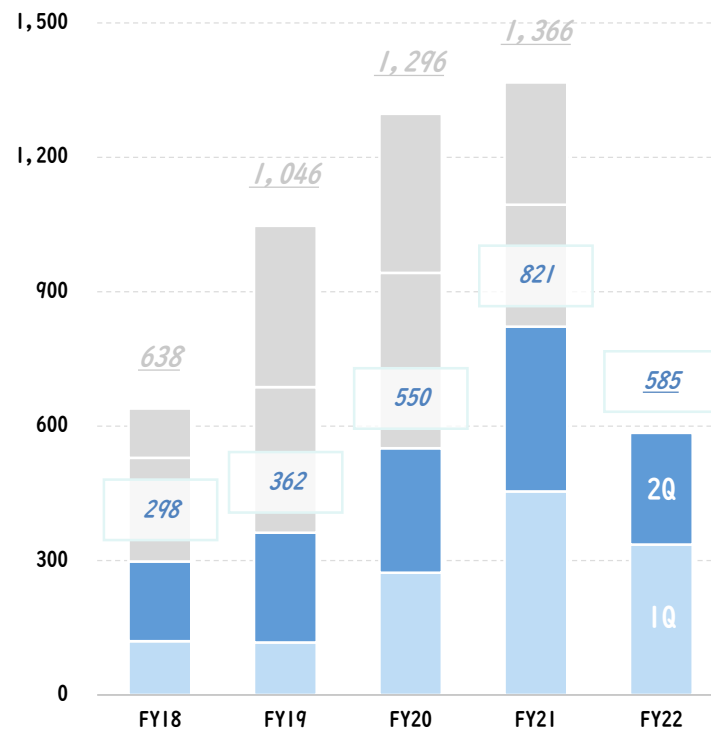
営業利益（百万円）



売上高（百万円）

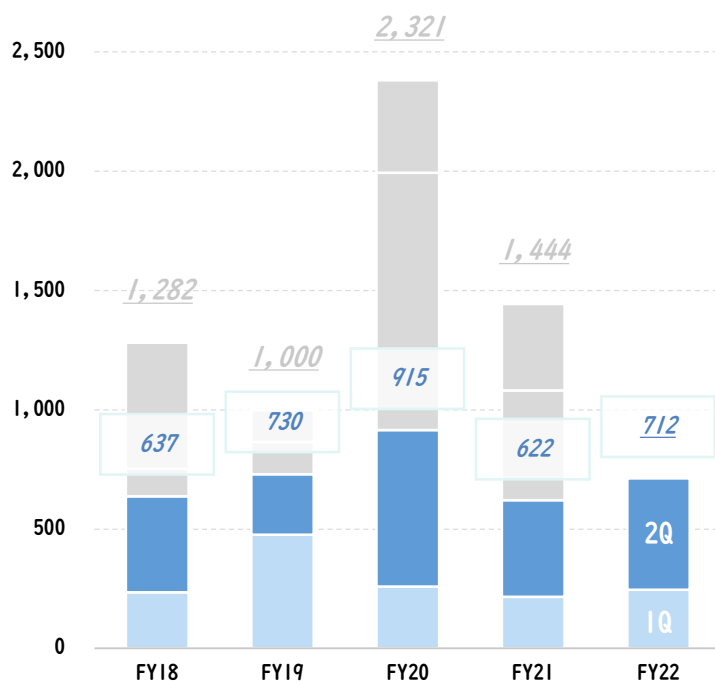


営業利益（百万円）



- ・設備投資は前年同期比+90百万円（当社▲6百万円、連結子会社+96百万円）の712百万円となった。主な増加については、中国子会社での生産設備取得に伴う設備投資による。
- ・減価償却費は生産設備等の取得に伴い、前年同期比+58百万円の519百万円となっている。
- ・研究開発費については当社及び中国子会社での増加に伴い、前年同期比+20百万円（当社+10百万円、連結子会社+10百万円）の151百万円となった。

設備投資（百万円）



研究開発費（百万円）

